



# 皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第170号 2016年5月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成28年4月28日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## GWはShowroomへ

現在横浜で開催されているキッチン、バス、トイレなど水回り商品を中心とした各メーカーのショールームをご紹介します。

### LIXIL春のショールームフェア

素敵な特典をご用意しています

- ①お見積りでプレゼント
- ②ご成約でプレゼント
- ③ギフトカタログをプレゼント

☎ 0570(783)670

### TOTOスプリングフェア

お見積りでTOTOオリジナルグッズをプレゼント ☎ 0120(43)1010

### Panasonicリフォームキャンペーン

「納得・体感」お見積りプレゼント  
「オリジナルキッチンツールキーパー」「リフォームマガジン」プレゼント ☎ 045(453)0981

半日ぐらいかけてデザインや機能などお気に入りの商品をお探しくささい。お手伝いさせていただきます。

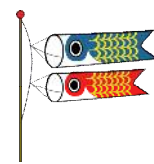
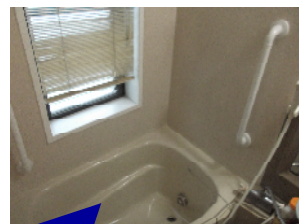
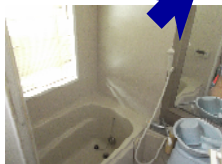
介護保険住宅制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

浴室の手すりの設置工事です。洗い場から浴槽に移動する時に体を安定させるために滑りにくい縦手すりを設置しました。「手すり一本だけですが、大分楽になりました。」というご感想をいただきました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

ユニットバスに新築時にでなく、後から手すりを設置する場合は、ユニットバス本体の下地の関係で、設置可能な範囲が限定されるため、設置する位置や手すりの長さにご注意しなければなりません。ユニットバスの壁の仕様によっては、設置できない場合があります。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



## 東京湾の軍事遺産

三浦半島と房総半島に囲まれた東京湾が最も狭まる走水地区の丘の上に旧陸軍の要塞

「走水低砲台跡」があります。カノン砲を据え付けていた直径13mの砲座が4か所あり、山腹にはレンガ造りの弾薬庫が2棟と兵舎が1棟あります。

国史跡指定を目指す横須賀市では、市民向けのツアー（「広報よこすか」5月号参照）と猿島砲台跡の見学と組み合わせた観光客対象の軍事遺産を巡る「はとバスツアー」を計画しているようです。



（参考・神奈川新聞）



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. Next50  
創刊 2002.4.1.



ぶんがくかん

## よこすか文学館

中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に、歴史、小説、映画などジャンルを越えて「よこすか」が舞台となった芸術作品を紹介していただきます。

（すまい造りメール第77号参照）



### 第四話

### 「曾我物語」の三浦一族

『曾我物語』は、曾我十郎五郎の兄弟（なぜか十郎の方が兄）が父親の敵である、源頼朝の側近工藤祐経を討つ、敵討の物語です。衣笠城合戦の後、頼朝勢に合流した三浦一族である和田義盛（三浦義明の孫）が『曾我物語』に登場します。義盛は、工藤と同じ頼朝の家臣ですが、むしろ兄弟に同情し、敵討直前に宿所を訪れた彼らをもてなしたりする複雑な役回りです。『曾我物語』にもとづく演劇も多く、歌舞伎には「曾我物」という分野があり、2013年の新歌舞伎座のこけら落し公演の演目の1つだった「寿 曾我対面」も「曾我物」です（和田義盛は出てきませんが）。



衣笠城址の物見岩

洗足学園中学高校教諭  
中島正二

## 横須賀製鉄所物語（横須賀製鉄所の技術伝承）〈23〉

横須賀市の変遷や街づくりのこぼれ話をまとめた「横須賀ストーリーズ～山盛百話～」をしばらくお休みして、「横須賀製鉄所物語」の続編をお送りします。

横須賀製鉄所（後の造船所）は、横須賀においての造船・艦船の修理だけではなく、日本産業の近代化のための産業機械の生産にも貢献し、日本の産業革命をここから発信しました。そして、横須賀製鉄所の覺舎による教育を受けた技術者や、その指導育成を受けた技術者が活動の場を求めて横須賀から巣立ちました。そうした中の一人に「杉浦栄次郎」という技術者がいます。

住友重機械工業株式会社浦賀造船所が編集発行した『浦賀・追浜百年の航跡』によると、浦賀船渠の創業は、浦賀奉行所与力でペリー来航の際に、浦賀奉行所副奉行と名乗り黒船に乗船し初の外交交渉をし、久里浜でアメリカ大統領の国書を受領することとした中島三郎助が、その後五稜郭の戦いで生涯を閉じ、ともに五稜郭で戦った後に農商務大臣になった榎本武揚等により、中島三郎助のためドックの建設が計画され、ドイツ人技師ボーケルにより工事が着手されましたが、工事は遅々として進展せず、最終的には横須賀製鉄所の元設計技師杉浦栄次郎と工事担当者の緒方菊三郎の献身的な活動により、明治32年11月に船渠工事が完了し創業したと記されています。この「杉浦栄次郎」については、横須賀市教育委員会発行の『米海軍横須賀基地内洋風建造物調査報告書』によると、故石井穎一郎氏（横須賀市在住）が横須賀市に寄贈した『横須賀、呉、横浜船渠古図』との資料は、石井氏の伯父にあたる杉浦栄次郎の遺品であるとし、杉浦は当時横須賀製鉄所の工事請負人の中村甚左衛門の番頭であると記載されています。こうしたことから横須賀製鉄所建設の技術者の技術伝承が、日本で最古の煉瓦積みドライドックである浦賀ドックの完成をもたらしたものであります。

こうした由緒あるドックは歴史的にも評価が高いものなので、後世にしっかりと保存してゆくべきものと考えます。

（注）石井氏は、昭和26年から46年まで学校法人三浦学苑の校長でした。

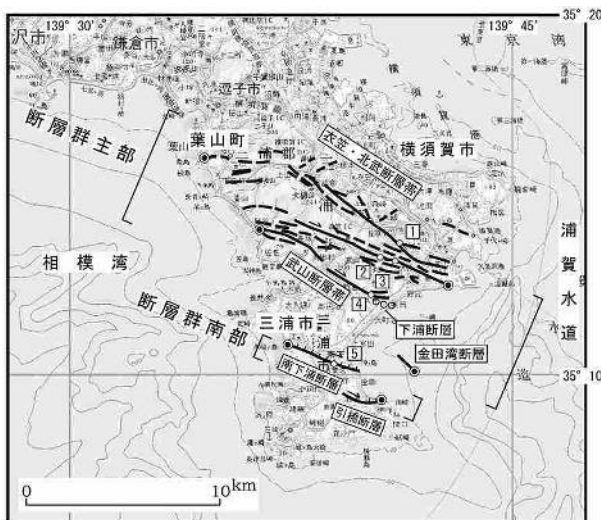
（元横須賀市助役 井上吉隆）



浦賀ドック  
（明治32年建造）  
長さ180m幅20m深さ11m

## 三浦半島の活断層

三浦半島には、半島を東西に横切り、現在も地殻変動が続いている「三浦半島活断層群」が存在します。衣笠・北武断層帯の長さは約14～22km、武山断層帯は約11km、南下浦断層帯は約6kmとされています。4月16日深夜1:25に発生した熊本地震（震度7/M7.3）では、大きな被害のあった益城町役場、熊本城、阿蘇大橋は、布田川断層帯の震源地から20km圏内でした。単純に比較はできませんが、三浦半島のほぼ中央に位置する武山断層帯の中心から20km圏内となると、三浦半島全体がすっぽり入ってしまいます。過去の事例を検証し、住まい、非常用品、連絡方法などを考慮しておかなければなりません。（すまい造りメール第113号参照）



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2016」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索